

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	地域子育て支援拠点事業	会計	一般会計	事業No.	161	施策順No.	37-007
		事業種別	政策・重点	予算科目	3-2-8-12-1		
政策	3 健やかに安心して暮らせるまちづくり			課等名	子育て支援課		
施策	37 子どもを産み育てやすい環境の充実			事業期間	開始	20	終了

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	就園前乳幼児の親子						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		3歳未満児数(各年4/1,住基+外登)	2978	2912	2899	2849	2761	
	意図	家庭での子育てを密室型から地域子育て型に転換し、子育ての孤立化や行き詰まりが防止される。就園前乳幼児の親子が気軽につどい、共同育児体験の中から家庭養育力が向上する。						
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	地域子育て支援拠点設置数	6	8	8	8	8	8	A
	延べ利用者数	17544	24439	21325	22000	40847	40000	
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	利用料の無料化、つどいのひろばの民営化及びスタッフ研修を充実し、H22は年間40,847人(H21年比1.9倍)が利用した。子育て中の親の孤立化、子育ての行き詰まり防止の取り組みとして、大きな成果をあげたと考える。							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	<p>新すくすくプラン後期計画対象事業 飯田市次世代育成行動計画の最重要課題である、「親の育児力向上」と「子育ての行き詰まり防止」対策事業。主に乳幼児を持つ親子が日常的に集う親子通園施設。「孤独な子育て」を解消するとともに、育児に対する「知識・技術・自信」を身につけるため、次の役割を担う。 ①育児についての情報交換や学びあいの常設の場の提供。②「子育てはたいへんだけれど喜び」という子育て意欲をつくり出す。 ③子育てアドバイザーが育児相談や育児関連情報を提供。④子育て講習会の定期的実施。</p>		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 地域子育て支援拠点事業 (1)週5日型 3か所 わいわいひろば(H22.6月まで松尾)、カンガルークラブ、座光寺 (2)週3-4日型 5か所 おしゃべりサタ、くまさんのおうち、なかよし広場ぞうさん、ひだまりサロン、アイキッスクエア	1 設置数 2 設置数	1 8か所 2 1か所
	2 発達支援学級		
23年度実施計画	1 地域子育て支援拠点事業 (1)週5日型 2か所 座光寺、カンガルークラブ (2)週5日型機能拡充型 1か所 わいわいひろば (3)週3-4日型 3か所 おしゃべりサタ、くまさんのおうち、なかよし広場ぞうさん、ひだまりサロン、アイキッスクエア (4)出張型つどいの広場のモデル事業実施 1か所 おしゃべりポトフ (5)育児支援ボランティア受け入れモデル事業実施 2か所	1 設置数 2 回数	1 9か所 2 1回
	2 子育てひろば全国連絡協議会基礎講座研修(2日間)		

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項 (国)次世代育成支援対策交付金(1/2) (県)地域子育て支援拠点事業補助金(国1/3、県1/3)H21まで (県)安心こども基金(10/10)
	国庫支出金		19,194	18,835	19,336	
	県支出金		250	921	1,000	
	起債					
	その他					
	一般財源		19,194	18,835	19,337	
計(A)		38,638	38,591	39,673		
	正規職員所要時間		200			
	臨時職員等所要時間		300			
	人件費計(B)		1,038			
	トータルコスト A+B		39,629			

4 事業に対する市民や議会の意見

次世代育成支援行動計画の進行に当たり、市民代表による地域協議会の設置が義務づけられている。地域協議会は、いわゆる親育ち支援施策の柱として「つどいの広場」事業の展開を要望している。 飯田市議会(17年6月及び9月)でも、設置数拡大の質問等が出されており、計画に基づいて拡大の方向性を答弁している。
--

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠、特殊要因)	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	子どもを産み育てやすい環境の充実	施策の成果指標又はムツ指標	子育てしやすいまちだと感じている人の割合(%)
この事務事業は施策の目的達成にどのよう貢献しましたか	4年間の振り返り	つどいのひろばを概ね中学校区に市内8か所設置したところであり、子育て親子の交流・相談などの地域子育て拠点として定着している。利用料の無料化、つどいのひろばの新設及びスタッフ研修を充実し、H22は年間40,847人(H19年比2.3倍)が利用した。子育て中の親の孤立化、子育ての行き詰まり防止の取り組みとして、一定の成果をあげてきたところである。		
	後期に向けた課題	利用者の増加に伴い、手狭になった施設及び施設の老朽化、耐震などの安全性に難のある施設があるが、施設改修、新たな場所の確保など解決策が見出せていない。移動手段がない家庭が増加しており、より身近な場所ですどいのひろばを開く必要がある。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	利用料の無料化、つどいのひろばの新設及びスタッフ研修を充実し、H22は年間40,719人(H19年比2.3倍)が利用した。子育て中の親の孤立化、子育ての行き詰まり防止の取り組みとして、一定の成果をあげてきたところである。		
	後期に向けた課題	利用者の増加に伴い、手狭になった施設及び施設の老朽化、耐震などの安全性に難のある施設があるが、施設改修、新たな場所の確保など解決策が見出せていない。移動手段がない家庭が増加しており、より身近な場所ですどいのひろばを開く必要がある。		
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	H22直営のつどいのひろばを1か所民営化したところである。また、8か所のうち、7か所が民営であり、民間活力を導入して事業を行ってきたところである。		
	後期に向けた課題	利用者の増加に伴い、手狭になった施設及び施設の老朽化、耐震などの安全性に難のある施設があるが、施設改修、新たな場所の確保など解決策が見出せていない。移動手段がない家庭が増加しており、より身近な場所ですどいのひろばを開く必要がある。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	景気低迷が子育て家庭の家計に影響を与えており、利用料金がつどいのひろばの利用を制約する一因となっていた。そのため、利用料金を無料化したところである。市は8か所のつどいのひろばのスタッフ研修、心配な親子の支援を中心に担っており、その関与は適当であると考えている。		
	後期に向けた課題	利用者の増加に伴い、手狭になった施設及び施設の老朽化、耐震などの安全性に難のある施設があるが、施設改修、新たな場所の確保など解決策が見出せていない。移動手段がない家庭が増加しており、より身近な場所ですどいのひろばを開く必要がある。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをしましたか、又は、配慮してきましたか	4年間の振り返り	主に社会福祉法人、NPO、子育て支援団体等を運営しており、民間活力の導入による運営を進めてきた。市は8か所のつどいのひろばのスタッフ会議及び研修、心配な親子の支援を中心に担っているところである。こうした役割分担により、子育て中の親子の孤立化、子育ての行き詰まり防止を図ってきたところである。		
	後期に向けた課題	利用者の増加に伴い、手狭になった施設及び施設の老朽化、耐震などの安全性に難のある施設があるが、施設改修、新たな場所の確保など解決策が見出せていない。移動手段がない家庭が増加しており、より身近な場所ですどいのひろばを開く必要がある。		
全体を通じて	4年間の振り返り	つどいのひろばを概ね中学校区に市内8か所設置したところであり、子育て親子の交流・相談などの地域子育て拠点として定着している。利用料の無料化、つどいのひろばの新設及びスタッフ研修を充実し、H22は年間40,847人(H19年比2.3倍)が利用した。子育て中の親の孤立化、子育ての行き詰まり防止の取り組みとして、一定の成果をあげてきたところである。		
	後期に向けた課題	利用者の増加に伴い、手狭になった施設及び施設の老朽化、耐震などの安全性に難のある施設があるが、施設改修、新たな場所の確保など解決策が見出せていない。移動手段がない家庭が増加しており、より身近な場所ですどいのひろばを開く必要がある。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	--	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	-----------------------------------